

# WASLI



WORLD ASSOCIATION OF  
SIGN LANGUAGE INTERPRETERS

2014年6月

## 手話通訳者の役割に関する声明文

世界手話通訳者協会（WASLI）は、ろう者コミュニティにおける手話通訳者が果たす役割について頻繁に質問を受けます。

国により、通訳者養成、通訳者サービス制度、全国通訳者組織の創設、手話通訳者の専門性開発の度合い、に関する発展状況が様々違っています。しかし、発展状況に関わらず、通訳者は、ろう者の人権を支持するために働きます。

通訳者は、自らの役割を理解する際、以下のことを考慮することが重要です。

- 1 通訳者の役割は、手話と音声言語それぞれの使用者間で通訳をすること、およびろう者と聴者の双方に完璧で的確な情報を提供することです。通訳者として効果的に働くために、通訳者は公平な通訳業務遂行に集中します。  
通訳者は、会話に関わる人のコミュニケーションの目的を理解できるよう、文脈から得る情報、全ての内容、を含む通訳を提供し、双方が豊かにコミュニケーションできる条件を整備します。
- 2 通訳者は倫理上の判断の下し方について自覚を持つことも大切で、以下のことを含みます：
  - 任務に対して通訳者の技術が適しているかを確認する
  - より良い通訳技術と、通訳についての理解を深めるために継続的に専門性の発展を追求する
  - 良好な通訳業務遂行のために必要な準備を怠らない
  - 適任でない場合には、依頼を断る
  - 会話のやりとりに対し通訳者が公平な立場でいられないと判断した場合には依頼を断る
- 3 ろう者は自分たちの意見を述べ、自らの人生を自分で歩む権利を有しています。彼らは、通訳者がろう者の平等実現を目指す主体的取り組みに、理解を示し参加することを望んでいます。たとえば、ろう者自身が代表となってすべての役職ある地位につく必要があります。ろう者がこのようなリーダーとしての役割を担っていかなければなりません。健聴通訳者が、ろう者のクラブや協会の会長や役員を務めることは、ふさわしくありません。

詳細は倫理行動規範のガイドラインをご覧ください。 [www.wasli.org](http://www.wasli.org)